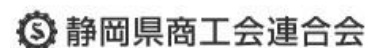


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 4 年 4 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和 4 年 4 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 4 年 4 月 30 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【人流の増加等により全ての業種で業況が好転したが、原材料・原油価格高騰やウクライナ情勢、円安の進行等による今後の影響が懸念されている】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-30.9（前月-39.2、前年同月-22.3）で、前月比 8.3pt 好転した。前月にまん延防止等重点措置が解除され人流が増加し、特にサービス業では業況が大きく好転した。一方で、原材料・原油価格の高騰や、ウクライナ情勢、急速な円安の進行等が今後の懸念材料である。

【製造業】

業況は-22.6（前月-31.4、前年同月-12.7）と前月に比べ 8.8pt 好転した。食料品や機械金属は業況が好転しているが、原材料・原油価格の高騰やウクライナ情勢に加え、半導体不足等の影響を受け仕入単価が上昇している。

【建設業】

業況は-38.2（前月-44.1、前年同月-17.6）と前月に比べ 5.9pt 好転した。需要は増加傾向にあるが、資材価格の高騰や給湯器等の住宅設備機器の不足・納品遅れが続いており、工期変更等が生じている。

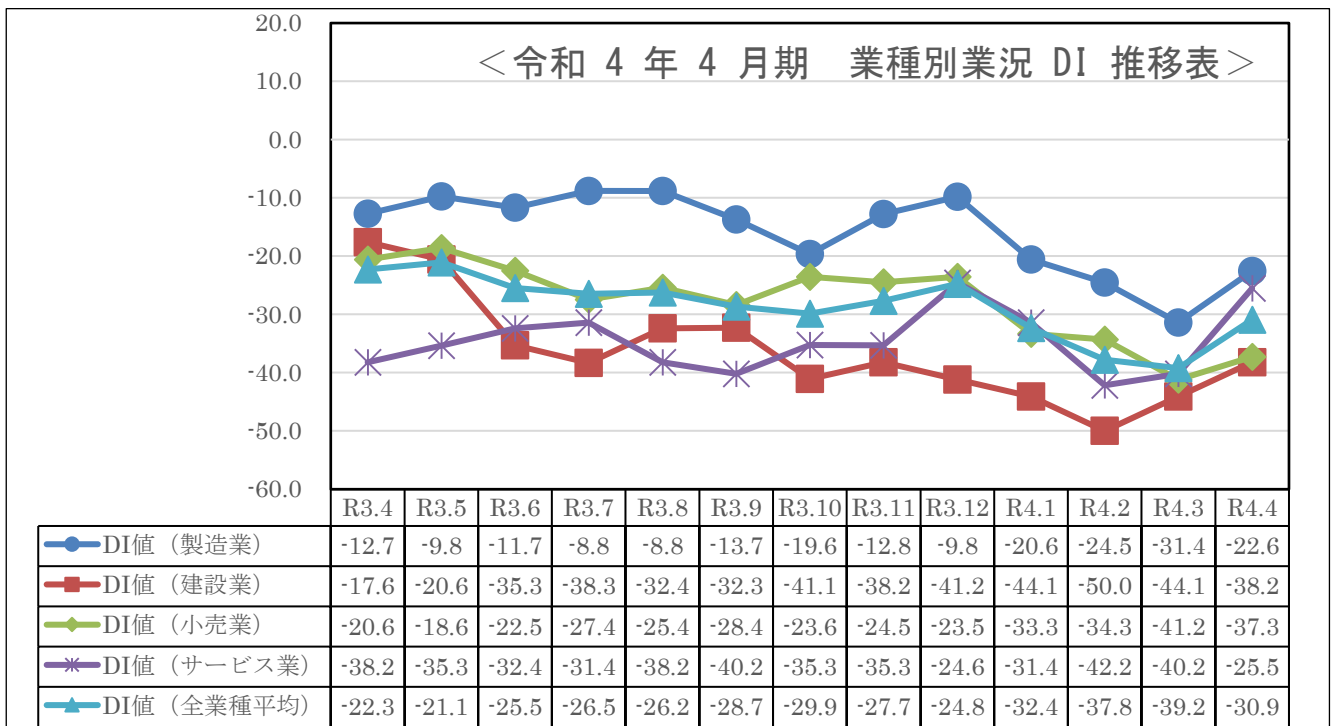
【小売業】

業況は-37.3（前月-41.2、前年同月-20.6）と前月に比べ 3.9pt 好転した。仕入価格上昇等の影響を受けているが、衣料品や食料品や業況はやや好転している。

【サービス業】

業況は-25.5（前月-40.2、前年同月-38.2）と前月に比べ 14.7pt 好転した。旅館業では外出自粛の緩和により人出が増加し、業況が大きく好転した。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：増田・中村〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・原材料高騰や中国からの製品輸入が困難なことにより仕入価格上昇に繋がっている。(伊豆)
- ・新型コロナに加え、ロシアのウクライナ侵攻、円安の進行等が原油価格や資材価格高騰、入荷難に繋がっている。(富士駿東)
- ・自動車関連ではウクライナ情勢や半導体不足により不安定な業況が続いている。(中部)
- ・機械金属関連では受注があり売上が伸びているものの、原油や原材料価格高騰により利益が減少している。(中東遠)
- ・メーカーによる生産調整の影響を受けている企業もあるが、全体的な売上は堅調であり、回復が遅れていた工作機械関連もコロナ禍前の業績に戻っている。(西遠)

【建設業】

- ・最新の給湯器の入荷に半年かかることもあり、新古品の確保等により対応している。(伊豆)
- ・新築・リフォーム等、徐々にではあるが需要が増加している。(富士駿東)
- ・業績の2極化が進んでいるが、回復傾向の事業者が多い印象を受けている。(中部)
- ・原材料・原油高の高騰による仕入価格上昇、納期の遅延等が発生している。(中東遠)
- ・部材納入が滞っており、着工できない現場が発生している。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

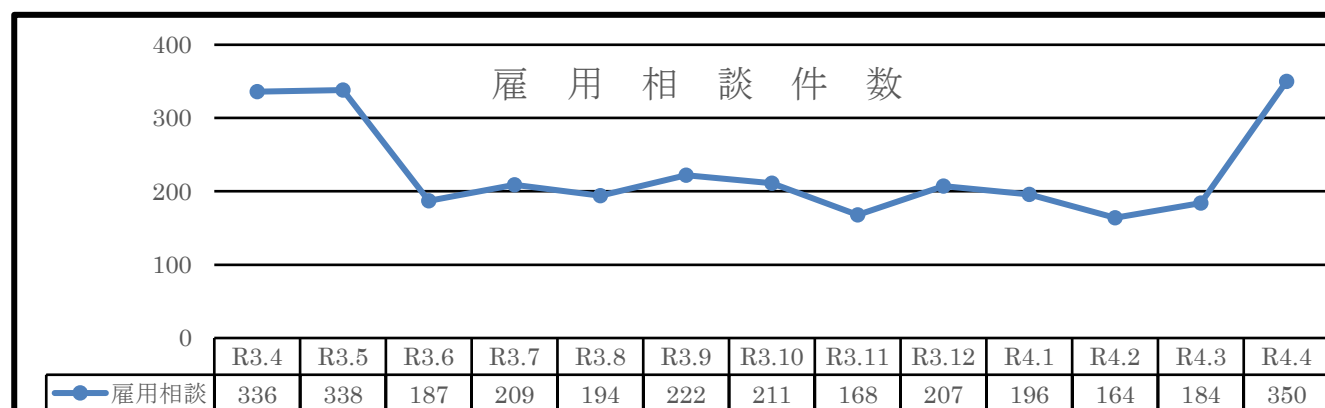
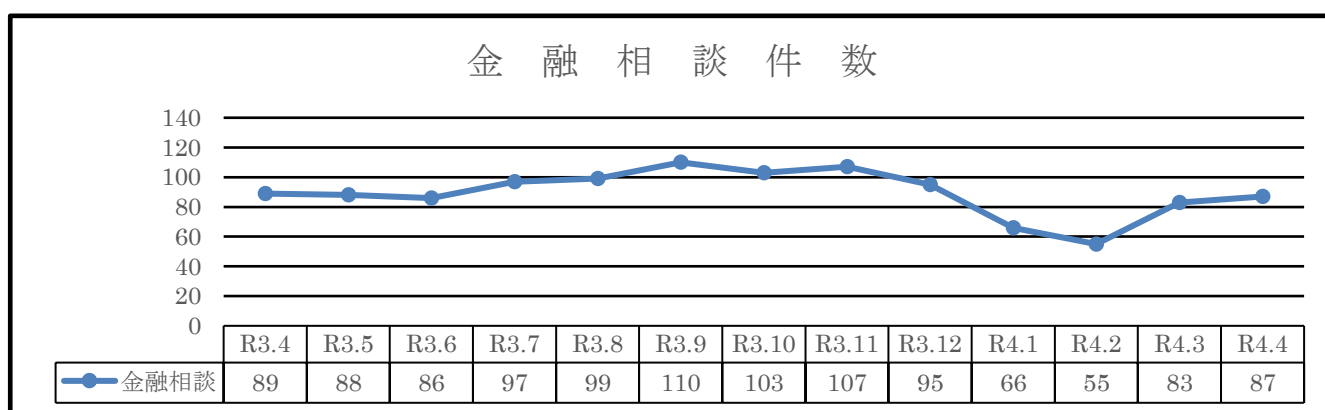
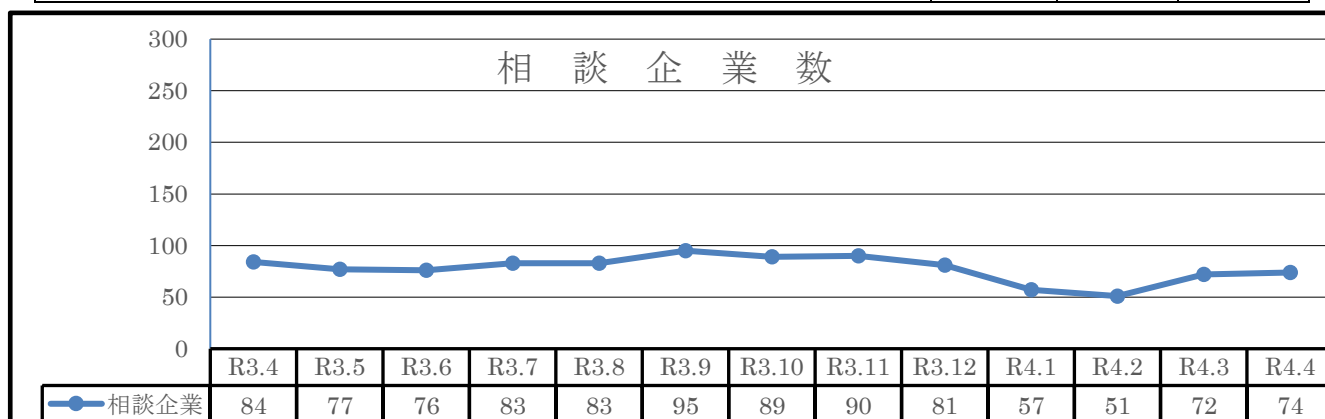
- ・耐久消費財は需要があるが納品待ちが続いている。受注量は例年並みである。(伊豆)
- ・仕入価格は上昇傾向にあり、特にウクライナ情勢によりロシア産の生鮮食品等の価格が上昇している。(富士駿東)
- ・ウクライナ情勢や原材料価格高騰等による影響を受け、採算性が悪化している。(中部)
- ・食料品は総菜の売れ行きは好調であるが、コスト高により収益確保が難しい。(中東遠)
- ・新型コロナによる行動制限が緩和され、洋服を新調する顧客が増加傾向にある(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・旅館業は個人客で多くの利用があり、前年比売上が大きく増加したが、団体客を取扱う事業者は動きが鈍く、厳しい業況が続いている。(伊豆)
- ・洗濯業は外出自粛緩和や新型コロナ収束後の需要回復を期待しているが、依然として先行きが不透明な状況が続いている。(富士駿東)
- ・旅館業はGWに入り宿泊客が増加傾向にあるが、コロナ禍前には程遠い状況である。(中部)
- ・理美容業は当地区で3年ぶりに祭典が催されたため多忙であった。(中東遠)
- ・理美容業はコロナ禍であるが人の動きが戻っているため、平年並みの売上がある。(西遠)

金融・雇用相談実績月次報告(令和4年4月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	74	72	2
【金融相談件数】	87	83	4
新規融資（借換えを除く）	54	46	8
既存債務の借換え	32	36	-4
借入れ条件変更	0	0	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	1	1	0
【雇用相談件数】	350	184	166



【金融相談】

金融相談件数は、87件と前月(83件)に比べ4件増加した。主な内容は、資金繰りや、借換え等の既往債務に関する相談である。

<経営指導員コメント>

- ・直近の管内調査で約8割が資金繰りは厳しいが借入不要と回答があった。円安や物価上昇等による影響が長引き、新型コロナが終息しない状況が続く場合は資金繰り相談が増加すると懸念している。(伊豆)
- ・相談件数は落ち着いているが、業種問わず資金繰りが厳しい事業者が多い。(富士駿東)
- ・新型コロナ関連融資の返済が近いうちに始まる事業者が多くあり、キャッシュフローに関する相談が増加している。(中部)
- ・仕入資金、諸経費支払資金等の当面の運転資金を確保し、資金繰り改善を図った(中東遠)
- ・仕入価格上昇等の影響を受けた事業者より、運転資金に関する相談が多くあった。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、350件と前月(184件)に比べ166件増加した。労働保険の年度更新に伴い、雇用保険の資格取得・喪失、雇用調整助成金、就業規則関連等の多くの相談があった。

<経営指導員コメント>

- ・直近の管内調査で人手不足の解消を課題とした事業者が最も多く、会員事業所の慢性的な労働力不足が顕著になってきている。(伊豆)
- ・年度更新相談、雇用保険(被保険者資格取得・喪失)等、従業員の就業に関する相談に適宜対応した。(富士駿東)
- ・従業員の確保が困難な状況が続いている。(中部)
- ・労使間トラブル、雇用調整助成金申請、就業規則・時間外労働(36協定)の相談があった。(中東遠)
- ・新規開業に際し、就業規則や雇用契約書等に関する相談があった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・5月下旬から「みなみいず応援プレミアム付商品券」を販売する。(南伊豆町)
- ・4/3(日)、「黄金崎さくらまつり」を新型コロナ感染対策を講じ開催した。(西伊豆町)
- ・事業復活支援金の相談、申請支援が引き続き多い。幅広い業種に渡り相談があるが、特に建設業関連が多い印象である。(沼津市)
- ・4/3(日)、旧東海道軒下を活用し戸1枚分の販売スペースで行う「トイタマーケット(第6回)」が開催された。(静岡市清水)
- ・4/24(日)、「第44回さがら草競馬大会」が、生憎の雨天の中であったが3年ぶりに開催された。(牧之原市)
- ・4/29(金・祝)～9/25(日)、トーマスフェアが開催されている。(川根本町)
- ・4/23(土)、「森の軽トラ市」を開催した。(森町)
- ・金曜日の夜から日曜日にかけて、キャンプ場の利用客が多い状況が続いている。(浜名)
- ・新型コロナの影響を受けた市内飲食店を応援し、さらに消費を喚起することで市内経済の活性化を図るため、5/9～6/12まで利用可能なLINEクーポンを湖西市が発行することとなった。当初2月に実施が予定されていたが、まん延防止等重点措置により延期になっていた。(新居町)